

CASBEE神戸ver.3
(仮称)エスリード神戸橋通4丁目 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.1	1.00	3.1
3.1 屋光利用						4.2	0.30	2.4	0.30	
1 屋光率		共用部 屋光率=3.51 専用部 屋光率=1.05				5.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口						3.0	-	1.0	0.30	
3 屋光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御		庇とカーテンを設置した				4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						2.6	0.25	4.0	1.00	3.6
4.1 発生源対策						3.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		ホルムアルデヒド、VOCIには配慮				3.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	-	3.0	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	3.0	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	3.0	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.2
1 機能性						3.5	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		Cat5eを使用				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		スロープ勾配や段差や階段等に配慮				3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						4.0	1.00	4.0	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	3.0	-	
3 内装計画		パース等で建物全体の雰囲気を確認し、コンセプト等に合うように計				4.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.30	2.5	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	3.0	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	2.0	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	3.0	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	3.0	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	3.0	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	3.0	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.30	3.7	-	
1 躯体材料の耐用年数		磁器質タイルを使用				3.0	0.20	3.0	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						5.0	0.20	5.0	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	2.0	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	3.0	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種以上Bを使用				5.0	0.20	5.0	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	3.0	-	
2.4 信頼性						2.4	0.20	2.4	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	3.0	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	2.0	-	
3 電気設備						1.0	0.20	1.0	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	3.0	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	3.0	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり							0.50
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			1.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺風景と調和させ、地域性のある外装材を使用	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.95	3.5	0.50	-	-	3.5
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、タイル、パーティクルボード	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2に配慮	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-